

基準化等作業・候補項目の現状

分野	基準化等に向けて作業を進めている項目	基準化等の候補として検討している項目
1. 少子高齢化への対応		1-1.幼児専用車の安全性向上 1-2.乗車人員の体格差の考慮* 1-3.チャイルドシートの側面衝突対策
2. 歩行者・自転車乗員の事故防止・被害軽減対策	2-1.歩行者保護対策(脚部)の導入	
3. 新たなモビリティへの対応	3-1.リチウムイオン蓄電池の安全性*	3-2.ハイブリッド自動車等の静音性対策* 3-3.超小型モビリティの安全性能* 3-4.電気自動車の安全性
4. 大型車がからむ重大事故対策		4-1.大型車の横転防止, 走行安定性向上(R13の採択) 4-2.衝突被害軽減ブレーキ(バスのAEBS)* 4-3.車線逸脱警報装置(LDWS) 4-4.大型特殊自動車のEBS
5. 乗員保護対策		5-1.頸部傷害軽減対策の強化 5-2.コンパティビリティ改善対応ボディ 5-3.ポール側突対策 5-4.内部突起(R21の採用)
6. その他安全対策	6-1.車載電子システムの電磁波耐性 6-1.操縦装置配置及び識別表示等(R121の採択)* 6-2.乗用車の視界(R125の採択)*	6-3.タイヤの安全性(R64の採択) 6-4.ドライブレコーダー* 6-5.EDR(イベント・データ・レコーダ)* 6-6.飲酒運転防止対策 6-7.タイヤの安全性 6-8.DRL(Daytime Running Light) 6-9.ブレーキ・オーバーライド・システム 6-10.レーンキープアシスト 6-11.パーキングアシスト 6-12.番号灯(R4の採択)* 6-13.追突時の燃料漏れ防止(R34の採択)* 6-14.窓ガラス(R43の採択)* 6-15.後写鏡(R46の採択)* 6-16.騒音(R51の採択)* 6-17.LPG専用装置(R67の採択)* 6-18.ステアリング装置(R79の採択)* 6-19.燃料要件別排出ガス規制(R83の採択)* 6-20.乗用車のCO2排出量と燃費(R101の採択)* 6-21.CNG自動車(R110の採択)* 6-22.タイヤ単体騒音(R117の採択)*

* 平成23年交通政策審議会報告書中取り組むべき事項として挙げられているもの

※現在、国際会議の場で検討を行っている「国際的な車両型式認証の相互認証制度(IWVTA)」の実現に向け、今後項目を追加予定

(一)見え消し:平成23年交通政策審議会以降に、作業が完了したもの